

「八多町対象住民説明会」（第3回）質疑要旨

日時：平成30年5月25日（金） 19:00～20:00

場所：多家良中央公民館 八多分館

出席者：市民23人、徳島市7人

質疑応答の概要は、以下のとおり。

Q 1	なぜ飯谷町で計画を進めるのか。
A 1	2年前に市内全域から候補地の絞り込みを行い、飯谷町枇杷ノ久保が最善であると選定し、最有力候補地として公表しました。
Q 2	候補地周辺にある危険区域の問題と、造成費に15億円もかかる土地を購入することについてどのように考えているか。
A 2	候補地周辺に土砂災害警戒区域等がありますが、配置計画エリア内に、危険区域は含まれません。仮に危険区域内であったとしても、建設不可というわけではなく、しかるべき対策を講じれば、施設を建設することは可能です。また、用地購入費と造成費は別のものと考えています。
Q 3	昨年の住民説明会の時には、排水はクローズドシステムと言っていたが、この度の説明会では生活排水を流すことになっている。排水の区別はできるのか。
A 3	本市では熱回収施設として発電された電力の余剰は、社会に供給をしたいと考えています。社会に余剰電力が供給されることで、電力会社が使用する化石燃料が減ります。熱回収施設による発電は、二酸化炭素の削減効果があり、社会に対して貢献できるという側面があります。生活排水をクローズドで運用すると、発電量が落ちてしまいます。どの家庭でも流されている、洗い物、トイレ、お風呂の水といった生活排水を浄化槽で処理し、法律に遵守する数値で排水することにご理解いただきたいと思います。 また、排水の区別については、固定の配管でその時々で繋ぎかえることはないため、区別は可能です。
Q 4	リサイクルセンターのライン処理はどのように行われるのか。
A 4	資料は一般的な流れですが、不燃ごみ、粗大ごみ、缶びんペットボトル、プラスチック製容器包装は、収集車で運ばれてきたものを作業車でコンベアに投入します。そこから機械選別、手選別を経まして、ストックヤードで一時保管します。資源ごみの紙類、古紙類、布類、有害ごみの乾電池、水銀体温計などは運搬されたものはそのまま一時保管し、回収業者が引き取ります。新施設の具体的なラインにつきましては今後検討していきます。
Q 5	資料では缶、ビン、ペットボトルのラインは違うのに、なぜ現在は同じ袋で収集しているのか。

A 5	<p>現在は缶、びん、ペットボトルを同じ袋で収集し、リサイクルセンターで手選別、機械選別を組み合わせで分別しています。新しい施設では缶・びんで1つの袋、ペットボトルで1つの袋として収集したいと考えています。</p>
Q 6	<p>毎日 362 台の搬入車両が通行する。収集車両の通行により道路が傷むことも考えられることから、道路の拡張も含めた道路整備を行うのか。</p>
A 6	<p>道路整備は重要な課題の一つであると認識しています。道の拡幅や橋の架橋といった詳しい調査を今年度中に行い、引き続き県と協議を進めていきたいと考えています。</p>

以 上